

VII

資料

I 1. 表彰・受賞等

主 催：公益社団法人 全国労働衛生団体連合会

時 期：2017年6月(表彰日：2017年6月13日)

場 所：ホテルJALシティ田町

内 容：奨励賞 志田 季信 (渉外部 グループリーダー)

III 2. 各種検査基準値

(2018年7月現在)

1) 生化学的検査

検査名称	性別	検査法	基準値範囲(単位)
【血液化学検査】			
総蛋白		ビウレット法	6.7 ~ 8.3 g/dl
アルブミン		比色法 BCP法	3.8 ~ 5.2 g/dl
A/G比		比色法 BCP法 / ビウレット法	1.1 ~ 2.0
尿素窒素		酵素ウレアーゼ・GIDH(律速系)法	8.0 ~ 20.0 mg/dl
クレアチニン	男性	酵素法	0.61 ~ 1.04 mg/dl
	女性	酵素法	0.47 ~ 0.79 mg/dl
尿酸	男性	酵素法	3.8 ~ 7.0 mg/dl
	女性	酵素法	2.5 ~ 7.0 mg/dl
総コレステロール		酵素法	120 ~ 219 mg/dl
HDL コレステロール	男性	直接法	40 ~ 85 mg/dl
	女性	直接法	40 ~ 95 mg/dl
LDL コレステロール		直接法	65 ~ 139 mg/dl
中性脂肪		酵素法(FG消去法)	30 ~ 149 mg/dl
中性脂肪・食後		酵素法(FG消去法)	30 ~ 224 mg/dl
βリポ蛋白	男性	比濁法 ヘパリン・Mg比濁法	230 ~ 650 mg/dl
	女性	比濁法 ヘパリン・Mg比濁法	230 ~ 650 mg/dl
遊離脂肪酸		酵素法	0.10 ~ 0.90 mEq/l
磷脂質		酵素法	150 ~ 280 mg/dl
総ビリルビン		比色法(バナジン酸化法)	0.1 ~ 1.2 mg/dl
直接ビリルビン		比色法(バナジン酸化法)	0.0 ~ 0.2 mg/dl
間接ビリルビン		比色法(バナジン酸化法)	0.2 ~ 1.0 mg/dl
ZTT		肝機能研究班標準操作法	2.0 ~ 12.0 U
TTT		肝機能研究班標準操作法	4.0 U 以下
GOT(AST)		JSCC 標準化対応法	10 ~ 40 U/l
GPT(ALT)		JSCC 標準化対応法	5 ~ 45 U/l
γ-GTP	男性	JSCC 標準化対応法	80 U/l 以下
	女性	JSCC 標準化対応法	30 U/l 以下
ALP		JSCC 標準化対応法	100 ~ 325 U/l
LDH		JSCC 標準化対応法	120 ~ 240 U/l
コリンエステラーゼ	男性	酵素法(P-ヒドロキシベンゾイルコリン基質法)	234 ~ 493 U/l
	女性	酵素法(P-ヒドロキシベンゾイルコリン基質法)	200 ~ 452 U/l
LAP	男性	比色法(L-ロイシル p-ニトロアニリド基質法)	45 ~ 81 U/l
	女性	比色法(L-ロイシル p-ニトロアニリド基質法)	37 ~ 61 U/l
CPK	男性	UV法(JSCC 標準化対応法)	60 ~ 270 U/l
	女性	UV法(JSCC 標準化対応法)	40 ~ 150 U/l
血清アミラーゼ		酵素法	40 ~ 122 U/l
リパーゼ		酵素法	5 ~ 35 U/l
ナトリウム		電極法	137 ~ 147 mEq/l
カリウム		電極法	3.5 ~ 5.0 mEq/l
クロール		電極法	98 ~ 108 mEq/l

検査名称	性別	検査法	基準値範囲(単位)
カルシウム		アルセナゾⅢ法	8.4 ~ 10.4 mg/dl
無機リン		酵素法	2.5 ~ 4.5 mg/dl
Mg		酵素法	1.9 ~ 2.5 mg/dl
血清鉄	男性	比色法	50 ~ 200 μ g/dl
	女性	比色法	40 ~ 180 μ g/dl
総鉄結合能	男性	比色法	270 ~ 425 μ g/dl
	女性	比色法	270 ~ 440 μ g/dl
不飽和鉄結合能	男性	比色法	140 ~ 330 μ g/dl
	女性	比色法	150 ~ 385 μ g/dl
フェリチン	男性	CLIA 法	18.6 ~ 261 ng/ml
	女性	CLIA 法	4.0 ~ 64.2 ng/ml
グルコース・空腹時		酵素法	70 ~ 109 mg/dl
グルコース・食後		酵素法	60 ~ 139 mg/dl
ヘモグロビン A1c		酵素法	4.6 ~ 6.2 %
蛋白分画 A/G 比		セルロースアセテート膜電気泳動法	1.60 ~ 2.60 %
蛋白分画 ALB		セルロースアセテート膜電気泳動法	62.0 ~ 72.0 %
蛋白分画 α 1		セルロースアセテート膜電気泳動法	2.0 ~ 3.0 %
蛋白分画 α 2		セルロースアセテート膜電気泳動法	5.0 ~ 9.0 %
蛋白分画 β		セルロースアセテート膜電気泳動法	7.0 ~ 11.0 %
蛋白分画 γ		セルロースアセテート膜電気泳動法	11.0 ~ 20.0 %
アポ蛋白 A-1	男性	免疫比濁法 TIA 法	119 ~ 155 mg/dl
	女性	免疫比濁法 TIA 法	126 ~ 165 mg/dl
アポ蛋白 A-2	男性	免疫比濁法 TIA 法	25.9 ~ 35.7 mg/dl
	女性	免疫比濁法 TIA 法	24.6 ~ 33.3 mg/dl
アポ蛋白 B	男性	免疫比濁法 TIA 法	73 ~ 109 mg/dl
	女性	免疫比濁法 TIA 法	66 ~ 101 mg/dl
アポ蛋白 C-2	男性	免疫比濁法 TIA 法	1.8 ~ 4.6 mg/dl
	女性	免疫比濁法 TIA 法	1.5 ~ 3.8 mg/dl
アポ蛋白 C-3	男性	免疫比濁法 TIA 法	5.8 ~ 10.0 mg/dl
	女性	免疫比濁法 TIA 法	5.4 ~ 9.0 mg/dl
アポ蛋白 E	男性	免疫比濁法 TIA 法	2.7 ~ 4.3 mg/dl
	女性	免疫比濁法 TIA 法	2.8 ~ 4.6 mg/dl
リポ蛋白分画 α		アガロース電気泳動法	31.5 ~ 51.5 %
リポ蛋白分画 pre β		アガロース電気泳動法	2.6 ~ 24.6 %
リポ蛋白分画 β		アガロース電気泳動法	36.5 ~ 53.3 %
ベプシノーゲン評価		EIA 法 ラテックス凝集	陰性
【内分泌検査】			
T3(CLIA)		CLIA 法	58 ~ 159 ng/dl
T4(CLIA)		CLIA 法	4.8 ~ 11.7 μ g/dl
Free T3		CLIA 法	2.1 ~ 4.1 pg/ml
Free T4		CLIA 法	1.0 ~ 1.7 ng/dl
TSH(CLIA)		CLIA 法	0.3 ~ 4.9 μ IU/ml
アルドステロン		RIA 固相法	3.6 ~ 24.0 ng/dl
インスリン(IRI)		CLIA 法	1.7 ~ 10.4 μ U/ml
【腫瘍マーカー】			
AFP		CLIA 法	10.0 ng/ml 以下
CEA		CLIA 法	5.0 ng/ml 以下
PSA		ラテックス凝集法・CLEIA 法	4.0 ng/ml 以下
SCC		CLIA 法	1.5 ng/ml 以下
CA19-9		CLIA 法	37 U/ml 以下
CA125		CLEIA 法	35 U/ml 以下

2) 免疫学的検査

検査名称	性別	検査法	基準値範囲(単位)
【免疫血液学的検査】			
ABO 式		赤血球凝集反応	
Rho(D) 式		赤血球凝集反応	
【感染症免疫学的検査】			
ASO(定量)		ラテックス凝集比濁法	200 IU/ml 以下
トキソプラズマ抗体		PHA 法	160 倍未満
【梅毒血清検査】			
梅毒(RPR 法)		RPR 法(凝集反応)	陰性
梅毒(TP 抗体法)		ラテックス凝集比濁法	陰性
【肝炎ウイルス検査】			
HBs 抗原・定性		MAT 法	陰性
HBs 抗体・定性		MAT 法	陰性
HBs 抗原・定量		CLIA 法	0.04 IU/ml 以下
HBs 抗体・定量		CLIA 法	9.9 mIU/ml 以下
HBe 抗原(CLIA)		CLIA 法	0.9 S/CO 以下

検査名称	性別	検査法	基準値範囲(単位)
HBe 抗体(CLIA)		CLIA 法	49 % 以下
HBc 抗体(CLIA)		CLIA 法	0.9 S/CO 以下
HCV 抗体		LPIA 法	0.9 COI 以下
【自己抗体検査】			
RA(定性)		ラテックス凝集比濁法	陰性
RF(定量)		免疫比濁法	15 U/ml 以下
【血漿蛋白免疫学的検査】			
CRP(定性)		ラテックス凝集比濁法	陰性
CRP(定量)		ラテックス凝集比濁法	0.30 mg/dl 以下
非特異的 IgE		FEIA 法	170 IU/ml 以下
IgG		免疫比濁法 TIA 法	870 ~ 1700 mg/dl
IgA		免疫比濁法 TIA 法	110 ~ 410 mg/dl
IgM	男性	免疫比濁法 TIA 法	33 ~ 190 mg/dl
	女性	免疫比濁法 TIA 法	46 ~ 260 mg/dl

3) 血液学検査

検査名称	性別	検査法	基準値範囲(単位)
【血液形態・機能検査】			
白血球数		フローサイトメトリー法	3300 ~ 9000/ μ l
赤血球数	男性	電気抵抗検出法	430 ~ 570 $\times 10^4$ / μ l
	女性	電気抵抗検出法	380 ~ 500 $\times 10^4$ / μ l
血色素量	男性	SLS-ヘモグロビン法	13.5 ~ 17.5 g/dl
	女性	SLS-ヘモグロビン法	11.5 ~ 15.0 g/dl
ヘマトクリット値	男性	赤血球パルス波高値検出法	39.7 ~ 52.4 %
	女性	赤血球パルス波高値検出法	34.8 ~ 45.0 %
MCV		電気抵抗検出法	85.0 ~ 102.0 fl
MCH		電気抵抗検出法	28.0 ~ 34.0 pg
MCHC		電気抵抗検出法	30.2 ~ 35.1 %
血小板数		電気抵抗検出法	14.0 ~ 34.0 $\times 10^4$ / μ l
網状赤血球数		フローサイトメトリー法	4 ~ 19 %
【白血球百分率】			
白血球像(B)		鏡検法又はフローサイトメトリー	0 ~ 2 %
白血球像(E)		鏡検法又はフローサイトメトリー	0 ~ 8 %
白血球像(St)		鏡検法又はフローサイトメトリー	1 ~ 7 %
白血球像(Sg)		鏡検法又はフローサイトメトリー	34 ~ 70 %
白血球像 St+Sg		鏡検法又はフローサイトメトリー	40 ~ 75 %
白血球像(L)		鏡検法又はフローサイトメトリー	18 ~ 49 %
白血球像(Mo)		鏡検法又はフローサイトメトリー	2 ~ 10 %
白血球像異型 L		ライトギムザ 染色鏡検法	0 ~ 1 %
赤血球像・不同		ライトギムザ 染色鏡検法	(-)

4) 尿・糞便等検査

検査名称	性別	検査法	基準値範囲(単位)
【尿中物質定性・定量検査】			
尿糖		試験紙法	(-)
尿蛋白		試験紙法	(-)
尿潜血		試験紙法	(-)
尿ウロビリノーゲン		試験紙法	(\pm)
尿ケトン体		試験紙法	(-)
尿比重		屈折法	1.006 ~ 1.030
尿アマラーゼ・定量		酵素法(JSCC 標準化対応法)	65 ~ 840 U/l
尿糖(定量)		グルコキナーゼ法	0 ~ 20 mg/dl
尿蛋白(定量)		pyrogallol red 法	20 ~ 120 mg/dl
沈渣		尿沈渣鏡検法 / フローサイトメトリー	(-)
【糞便検査】			
便潜血免疫法 1		ラテックス凝集反応法	陰性
便潜血免疫法 2		ラテックス凝集反応法	陰性
虫卵検査・集卵		浮遊収卵法	(-)
ぎょう虫検査		セロファンテープ法	(-)

5) 病理学的検査

検査名称	性別	検査法	基準値範囲(単位)
【細胞診】			
婦人科細胞診		パバニコロウ染色法	ベセスタシステム・パバニコロウ分類
細胞診・直痰		パバニコロウ染色法	パバニコロウ分類(ABCDE分類)
細胞診・集痰		パバニコロウ染色法	パバニコロウ分類

6) 微生物学的検査

検査名称	性別	検査法	基準値範囲(単位)
【細菌培養同定検査】			
培養赤痢菌		培養・同定法	陰性
培養サルモネラ菌		培養・同定法	陰性
培養病原性大腸菌		培養・同定法	陰性
培養結核菌		培養・同定法	陰性
【細菌顕微鏡検査】			
塗抹結核菌		塗抹法	陰性

3. 血液検査緊急連絡値

(2018年7月現在)

検査名称	性別	数値	単位
総蛋白		4.0 以下	g/dl
尿素窒素		50.0 以上	mg/dl
クレアチニン		5.0 以上	mg/dl
総ビリルビン		5.0 以上	mg/dl
GOT (AST)		200 以上	U/l
GPT (ALT)		200 以上	U/l
γ-GTP(男)	男性	800 以上	U/l
γ-GTP(女)	女性	800 以上	U/l
CPK		600 以上	U/l
血清アミラーゼ		1000 以上	U/l
グルコース		300 以上	mg/dl
ヘモグロビン A1c (JDS)		11.0 以上	%
ヘモグロビン A1c (NGSP)		11.5 以上	
婦人科細胞診		ASC-US 以上	
白血球数		1500 以下	/μl
		18000 以上	/μl
血色素量	男性	7.0 以下	g/dl
	女性	7.0 以下	g/dl
ヘマトクリット値		20.0 以下	%
血小板		3.0 以下	× 10 ⁴ /μl

4. 判定ランク

(2018年7月現在)

1) 判定区分の説明

判定区分	略語	一般的な意味
A	異常なし	検査所見が基準範囲内にあります。
B	差し支えなし	基準値範囲以外の所見がありますが、日常生活に差し支えありません。
C	要生活注意	軽い異常があります。日常生活に注意して改善をはかって下さい。
D I	要観察	日常生活に注意して経過観察して下さい。気になる症状がある場合は医師に相談して下さい。
D II	要観察	日常生活に注意して経過観察し、再検査を受けて下さい。気になる症状がある場合は医師に相談して下さい。
E	要受診	早めに医療機関を受診し、治療の必要性の有無について、医師の診察を受けて下さい。
F	要治療継続	主治医の指示に従って下さい。
G	要精検	異常の原因を確認するために、精密検査を受けて下さい。
H	要再検	検査所見判定のためには、再検査を必要とします。
I	判定保留	今回の検査では判定ができませんでした。

2) 各種検査項目のランク別基準値

1. BMI

判定区分	C	B	A	B	C	
数値の範囲	BMI	≤16.4	16.5～18.6	18.7～24.2	24.3～24.9	25.0≤
コメント区分		やせ①②	やせ気味②	正常③	肥満傾向④	肥満⑤

2. 腹囲

	男性	女性
基準値	84.9cm以下	89.9cm以下

3. 聴力

判定区分	A	B	C	C	G	C	G	C
数値の範囲	1KHz、4KHzとも○	1KHz○、4KHz片耳×	1KHz○、4KHz両耳×	1KHz片耳×、4KHz○	1KHz両耳×、4KHz○	1KHz、4KHzとも片耳×	1KHz、4KHzとも両耳×	精密検査済 注参照
コメント区分	異常なし①	差し支えなし②	要生活注意③	要生活注意④	要精検⑤	要生活注意⑥	要精検⑦	⑧

注：「精密検査済」とは、専門医を受診して聴力低下の程度・原因が確認されている場合をいう。

4. 血圧

判定区分			B・C	A	B	C・D I・D II	G	E	F
数値の範囲	最高	男	≤89	90～129	130～139	140～159	160～179	180≤	医師のもとで服薬中の者は測定値にかかわらず該当 医師のもとで服薬中の者は測定値にかかわらず該当
		女	≤79	80～129	130～139	140～159	160～179	180≤	
	最低	男	≤39	40～84	85～89	90～99	100～109	110≤	
		女	≤29	30～84	85～89	90～99	100～109	110≤	
コメント区分			低血圧①②	正常血圧③	高血圧傾向④	境界域高血圧⑤	高血圧⑥	⑦	

5. 貧血

判定区分			D II・E・G	C・D I	A	B・D I・D II	G・E	G	F
数値の範囲	Hb	男	≤10.9	11.0～13.4	13.5～17.5	17.6～18.9	19.0≤	Hb値が前回の値と比較して、2.0g/dl以上低下した場合は「サポート外」とし、時系列データに基づいて医師が判定する。	貧血治療中
		女	≤8.9	9.0～11.4	11.5～15.0	15.1～16.4	16.5≤		
	Ht	男		≤39.6	39.7～52.4	52.5～59.9	60.0≤		
		女		≤34.7	34.8～45.0	45.1～54.9	55.0≤		
	赤血球数	男	≤300	301～429	430～570	571～630	631≤		
		女	≤300	301～379	380～500	501～550	551≤		
コメント区分			貧血①	貧血傾向②	正常範囲③	多血症傾向④	多血症疑い⑤	⑥	⑦

血清鉄等

項目	判定区分		E・G・DII	C・DI	A	B・DI・DII	G・E
	血清鉄	男		≤49		50～200	201～299
女			≤20	21～39	40～180	181～199	200≤
コメント区分		血清鉄減少①	血清鉄減少傾向②	正 常③	血清鉄増加④	血清鉄増加⑤	
総鉄結合能TIBC	男			≤269	270～425	426≤	
	女			≤269	270～440	441≤	
	コメント区分			総鉄結合能減少傾向②	正 常③	総鉄結合能増加④	
不飽和鉄結合能UIBC	男			≤139	140～330	331≤	
	女			≤149	150～385	386≤	
	コメント区分			不飽和鉄結合能減少	正 常③	不飽和鉄結合能増加④	

全血比重 基準値1.050～1.059

6. 尿酸

判定区分		C	A	DI	DII	G	F
数値の範囲	男	≤3.7	3.8～7.0	7.1～7.9	8.0～8.9	9.0≤	治療中は値に関係なく
	女	≤2.4	2.5～7.0	7.1～7.9	8.0～8.9	9.0≤	治療中は値に関係なく
コメント区分		尿酸低値①	正常②	尿酸高値③	尿酸高値④	高尿酸値⑤	⑥

7. 白血球

判定区分		G	DI	A	DI	DII	G・E
数値の範囲		≤2,500	2,501～3,299	3,300～9,000	9,001～12,000	12,001～14,999	15,000≤
コメント区分		白血球減少①	白血球減少②	正 常③	白血球軽度増加④	白血球中程度増加⑤	白血球高度増加⑥

8. 脂質検査（高脂血症）

1. 総コレステロール

判定区分		C・DI・DII	B・C	A	C・DI	DII・G	G・E	F
数値の範囲		≤110	111～119	120～219	220～239	240～279	280≤	治療中・観察中
コメント区分		低コレステロール①	低コレステロール②	正 常③	高コレステロール④	高コレステロール⑤	高コレステロール⑥	⑦

2. 中性脂肪

判定区分		C・DI	A	C・DI・DII	DII・G	G・E	F
数値の範囲	空腹	≤29	30～149	150～299	300～599	600≤	治療中・観察中
	食後8時間未満	≤29	30～224	225～320	321～599	600≤	
コメント区分		低中性脂肪①	正 常③	高中性脂肪④	高中性脂肪⑤	高中性脂肪⑥	⑦

3. HDL コレステロール

判定区分		C・DI・DII・G	A	B	F
数値の範囲	男	≤39	40～85	86≤	治療中・観察中
	女	≤39	40～95	96≤	
コメント区分		HDL低値④⑤⑥	正 常③	HDL高値①	⑦

4. LDL コレステロール

判定区分		B	A	DI	DII・G・E	F
数値の範囲		≤64	65～139	140～169	170≤	治療中・観察中
コメント区分		LDL低値①②	正 常③	LDL高値④	LDL高値⑤	⑦

5. β-リポ蛋白

判定区分		B	A	B・DI	F
数値の範囲		≤229	230～650	651≤	治療中・観察中
コメント区分		β-リポ蛋白低値①	正 常③	β-リポ蛋白高値④⑤⑥	⑦

6. 遊離脂肪酸（NFFA）

判定区分		C	A	B・DI	F
数値の範囲		≤0.09	0.10～0.90	0.91≤	治療中・観察中
コメント区分		NFFA低値①	正 常③	NFFA高値④⑤⑥	⑦

7. リン脂質（PL）

判定区分		C	A	C・DI	F
数値の範囲		≤149	150～280	281≤	治療中・観察中
コメント区分		PL低値①	正 常③	PL高値④⑤⑥	⑦

9. 肝機能検査

検査名	性別	B・C・D・I	A	C・D・I	D I・D II・G	G	備考
GOT			10～40 正 常②	41～55 GOT高値③	56～59 GOT高値④	60≤ GOT高値⑤	肝臓治療中⑥
GPT			5～45 正 常②	46～55 GPT高値③	56～99 GPT高値④	100≤ GPT高値⑤	
γ-GTP	男		0～80 正 常②	81～150 γ-GTP高値③	151～250 γ-GTP高値④	251≤ γ-GTP高値⑤	
	女		0～30 正 常②	31～150 γ-GTP高値③	151～250 γ-GTP高値④	251≤ γ-GTP高値⑤	
ZTT		1.9③	2.0～12.0 正 常②	12.1～19.9 ZTT高値③	20.0≤ ZTT高値④		
TTT			0.0～4.0 正 常②	4.1≤ TTT高値③			
LAP	男	≤44	45～81 正 常②	82≤ LAP高値③			
	女	≤36 LAP低値①	37～61 正 常②	62≤ LAP高値③			
T-Bil			0.2～1.2 正 常②	1.3～1.5 T-Bil高値③	1.6～2.0 T-Bil高値④	2.1≤ T-Bil高値⑤	
D-Bil			≤0.2 正 常②	0.3～1.2 D-Bil高値③	1.3～1.5 D-Bil高値④	1.6≤ D-Bil高値⑤	
AL-P		≤99③	100～325 正 常②	326～659 AL-P高値③	660≤ AL-P高値④		
CHE	男	≤233	234～493 正 常②	494≤ CHE高値③			
	女	≤199 CHE低値①	200～452 正 常②	453≤ CHE高値③			
LDH		≤119	120～240 正 常②	241≤ LDH高値③			
		LDH低値①					

注：上記の判定区分はあくまで単独項目の値が正常範囲を外れた場合の判定指示の区分を示したもので、2以上の項目が正常範囲を超えた場合は、「要精検(サポート外)」とし、判定表により時系列データをもて医師が判定する。

尿ウロビリノーゲン

判定区分	A	C以上
定性の範囲	≤+	2+≤
コメント区分	正常②	強陽性③④

D-Bilのみ異常値の判定基準

D-Bil	A	C	D I	D II	G
	≤0.2		0.3～1.2	1.3～1.5	1.6≤

10. 肝炎

肝炎ウイルス検査判定

検査項目検査方法		判定区分	A	B	D I・G	G
HA抗体	EIA		<50%	50%≤		
HBs抗原	MAT		-		+	
	CLEIA		≤0.9		1.0≤	
HBs抗体	PA		-	+		
	CLEIA		≤9.9	10.0≤		
HBe抗原	CLIA		<1.00		1.00～1.99	2.0≤
HBe抗体	CLIA		<50%	50%≤		
HBe抗体	CLIA		≤0.9		1.00≤	
HCV抗体	CLEIA		≤0.9		1.0≤	

11. 糖代謝

1. 尿糖

判定区分	A	D I	D II・G	D II・G・E	F
定性の範囲	-	±	+	2+≤	糖尿病治療中
コメント区分	正常①	疑陽性②	陽性③	強陽性④	⑤

2. 空腹時血糖・HbA_{1c}等

判定区分	検査項目 HbA _{1c} (NGSP)	血糖値		コメント区分
		空腹	食後4時間未満	
G・E	6.3≤	126≤	200≤	④
C・D I・D II		110～125	140～199	③
A	4.6～6.2	70～109	60～139	①
C・D I	≤4.5	≤69	≤59	⑤
F	(服薬、インスリン)で治療中は値にかかわらず			⑥

注：尿所見で組合せ区分の変更される部分あり。

12. 腎機能

1. 尿蛋白

判定区分	A	D I	D II	G・E	F
定性の範囲	-	±	+	2+≤	腎・泌尿器疾患治療中
コメント区分	正常①	疑陽性②	陽性③	強陽性④	⑤

2. 尿潜血

判定区分	A	D I	D II・G	G・E	F	H
定性の範囲	-	±	+	2+≤	腎・泌尿器疾患治療中	月経中
コメント区分	正常①	疑陽性②	陽性③	強陽性④	⑤	⑥

3. 尿素窒素

判定区分	B	A	D I・D II	G	E	F
数値の範囲	≤7.9	8.0～20.0	20.1～30.0	30.1～49.9	50.0≤	腎・泌尿器疾患治療中
コメント区分	低値①	正常①	やや高値②	高値③④	高値⑤	⑥

4. クレアチニン

判定区分	数値の範囲	B	A	D II・G	G・E	F
		男	≤0.60	0.61～1.04	1.05～1.99	2.00≤
	女	≤0.46	0.47～0.79	0.80～1.99	2.00≤	腎・泌尿器疾患治療中
コメント区分		低値①	正常①	やや高値②③④	高値⑤	⑥

尿比重 1.006～1.030

13. 腎機能

判定区分	B・D I	A	D I	D II	G・E	F
血清アミラーゼ	≤39	40～122	123～250	251～300	301≤	腎臓治療中
尿中アミラーゼ	≤64	65～840	841≤			
リパーゼ	≤4	5～35	36≤			
コメント区分	アミラーゼ等 軽度低下②	正 常①	アミラーゼ等 軽度上昇②	アミラーゼ等 中程度上昇③	アミラーゼ等 高度上昇④	⑤

14. 血小板

判定区分	D II・G	D I・D II	A	D I・D II	G・E
数値の範囲	≤9.9	10.0～13.9	14.0～34.0	34.1～49.9	50.0≤
コメント区分	血小板減少③	血小板減少②	正 常①	血小板増加②	血小板増加③

15. 便潜血

判定区分	A	B
判定結果	陰性	陽性

16. 喀痰細胞診

判定区分	所見
A	正常上皮細胞のみ、基底細胞増生、細胞異型軽度の扁平上皮化生、繊毛円柱上皮増生
G	細胞異型高度の扁平上皮化生、または悪性の腫瘍の疑いある細胞を認める
E	悪性腫瘍細胞を認める

17. 婦人科

ベセスダ所見	Class分類	判定区分
検査不能		I H
I 陰性	Class I	A
II 陰性	Class II	D II
ASC-US	Class II b ~ III a	E
LSIV	Class III a	E
AGC	Class III	E
ASC-H	Class III a III III b	E
HSIL	Class III b ~ IV	E
AIS	Class IV	E
SCC	Class V	E
ACA	Class V	E
Other	Class V	E

18. 免疫検査

検査名	B	A	B	D I	D II	G
シアル酸	≤39	40-71		72≤		
RA定量		15以下		16≤		16≤
RA定性		陰性		陽性	陽性	陽性
CRP定量		0.000 ~ 0.300		0.310 ~ 1.999		2.000≤
CRP定性		陰性		陽性		
ASO定量		200以下			201≤	
ASO定性		陰性			陽性	
ピロリ菌抗体定量		10.0未満		10.0≤		
ピロリ菌抗体定性		陰性		陽性		
ムンプスウイルス抗体		陰性	陽性			
風疹ウイルス抗体		陰性	陽性			

19. 腫瘍マーカー

検査名	A	G
PSA	4.0≥	4.0<
AFP	10.0≥	10.0<
CEA	5.0≥	5.0<
CA125	35≥	35<
CA19-9	37≥	37<

20. 蛋白分析

検査名	D I・G	A	D I・G	
TP	≤6.6	6.7 ~ 8.3	8.4≤	
	TP低値①	正 常②	TP高値③	
	≤3.7	3.8 ~ 5.2	5.3≤	
アルブミン	アルブミン低値①	正 常②	アルブミン高値③	
検査名	D I	A	B	D I
A/G比	≤1.0	1.1 ~ 2.0	2.1 ~ 2.5	2.6≤
	A/G比低値①	正 常②	A/G比高値③	A/G比高値④

㊦ 血清蛋白分画

検査名	B	A	B
A/G比	≤1.59	1.60 ~ 2.60	2.61≤
	A/G比低値①	正 常②	A/G比高値③
ALB	≤61.9	62.0 ~ 72.0	72.1≤
	ALB低値①	正 常②	ALB高値③
α1-G%	≤1.9	2.0 ~ 3.0	3.1≤
	α1-G%低値①	正 常②	α1-G%高値③
α2-G%	≤4.9	5.0 ~ 9.0	9.1≤
	α2-G%低値①	正 常②	α2-G%低値③
β-G%	≤6.9	7.0 ~ 11.0	11.1≤
	β-G%低値①	正 常②	β-G%低値③
γ-G%	≤10.9	11.0 ~ 20.0	20.1≤
	γ-G%低値①	正 常②	γ-G%低値③

21. 血液沈降速度

検査名	A	D I
血沈(男性)	0 ~ 10	11≤
血沈(女性)	0 ~ 15	16≤

22. 電解質

検査名	G	D II	B	A	B	D II	G	E
血清クロール			≦97	98 ~ 108	109≦			
血清マグネシウム			≦1.8	1.9 ~ 2.5	2.6≦			
無機リン			≦2.4	2.5 ~ 4.5	4.6≦			
血清ナトリウム			≦136	137 ~ 147	148≦			
血清カルシウム			≦8.3	8.4 ~ 10.4	10.5≦			
血清カリウム	≦2.9	3.0 ~ 3.4		3.5 ~ 5.0		5.1 ~ 5.5	5.6 ~ 6.0	6.1≦

23. 肺機能検査

項目名	A	DI(①・②どちらか該当)	G(①・②どちらか該当)
①1秒率	70≦	60 ~ 70	60 >
②%肺活量	80≦	70 ~ 80	70 >

※問診内容により変更有り

24. 眼圧

検査名	A	G
眼圧	21≧	21 <

25. 細菌検査

細菌検査項目	A	E
各種便培養	陰性	陽性

26. 甲状腺機能

検査名	G	D I	A	D I	G
T3		≦69	70 ~ 177	178≦	
T4		≦4.7	4.8 ~ 11.2	11.3≦	
TSH	≦0.39		0.40 ~ 4.00	4.10≦	4.10≦
FreeT3		≦2.0	2.1 ~ 4.1	4.2≦	
FreeT4		≦0.9	1.0 ~ 1.7	1.8≦	

27. その他

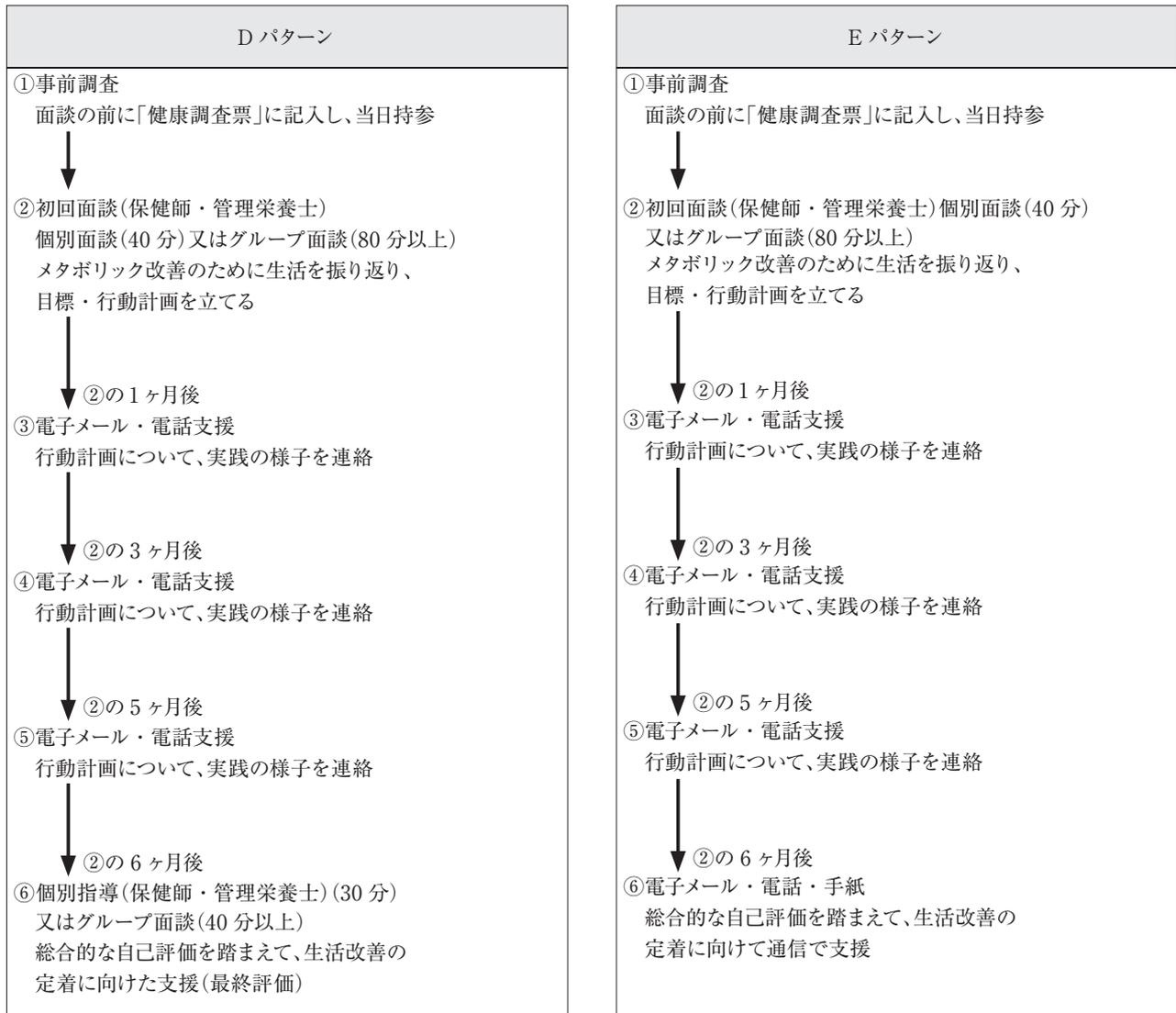
検査名	A	D I	G
CK男性	60 ~ 270	271 ~ 399	400≦
CK女性	40 ~ 150	151 ~ 399	400≦
ペプシノーゲン評価	陰性	疑陽性	陽性

5. 特定保健指導プログラム

積極的支援(支援スケジュールの一例です)



動機付け支援(支援スケジュールの一例です)



〈支援形式〉

初回面談および継続支援の実施方法は、保険者の要望に合わせて各種実施している。

- 個別支援 1対1の面談形式で、対象者に特化した内容での支援を行っている。
- グループ支援 8名以下のグループで初回と最終面談を実施
継続支援は個別支援を行っている。
- WEB支援 ICTを活用した面談をH27年度から実施し
直接面談が難しい拠点への支援を行っている。
- セミナー形式 被扶養者など、面談に参加することが難しい方を対象に
一度のセミナーの後で、電話・メールなどの通信で継続支援を行っている。
- 健診当日に実施 健康診断の日に腹囲・BMI、血圧の値から暫定的な階層化を行い、1回目の初回面談を行い
血液データが揃った時点で2回目の初回支援を実施している。

6. 協会の沿革

- 1971(昭和46)年 2月 産業保健衛生協会を創立
本部事業所 世田谷区中町
長野県支部 長野県辰野町
- 1973(昭和48)年 7月 労働大臣から財団法人許可
名称を「財団法人労働衛生協会」に改称
本部に付属光診療所、長野県支部に付属光診療所を開所
- 1973(昭和48)年 8月 社団法人全国労働衛生団体連合会(略称「全衛連」)加入
- 1976(昭和51)年 7月 本部を東京都杉並区高井戸西1-12-1に移転
- 1976(昭和51)年 11月 作業環境測定機関登録、作業環境測定事業開始
- 1979(昭和54)年 9月 社団法人日本作業環境測定協会加入
- 1983(昭和58)年 4月 長野県支部社屋を長野県上伊那郡辰野町平出平田1994-2に建設、移転
- 1988(昭和63)年 9月 日本医師会「臨床検査精度管理事業」、全衛連「総合精度管理事業」に参加(以降、継続参加)
- 1995(平成7)年 8月 日本作業環境測定協会「統一精度管理事業」に参加(以降、継続参加)
- 1998(平成10)年 3月 本部社屋を東京都杉並区高井戸東2-3-14に建設、移転
- 2000(平成12)年 6月 労働衛生サービス機能評価機構の認定取得(本部・長野県支部)(以降、継続参加)
- 2001(平成13)年 4月 中央労働災害防止協会安全衛生サービス機関(特殊健康診断等及び作業環境測定)名簿登載
- 2001(平成13)年 7月 労災保険二次健診等給付医療機関指定(長野県支部)
- 2002(平成14)年 7月 労災保険二次健診等給付医療機関指定(本部)
- 2003(平成15)年 4月 婦人科がん検診開始(本部)
- 2003(平成15)年 8月 保険医療機関の指定(本部光診療所)
- 2003(平成15)年 10月 内視鏡検査(内科)、メンタルヘルス(精神科)診療開始(本部)
- 2005(平成17)年 2月 本部光診療所の名称を高井戸東健診クリニックに改称
- 2005(平成17)年 10月 マンモグラフィ検診施設画像認定取得
- 2006(平成18)年 8月 女性のためのがん検診フロア開設(高井戸東健診クリニック)
- 2006(平成18)年 12月 ISO9001:2000(QMS)認証取得(健康診断・作業環境測定)
- 2008(平成20)年 10月 プライバシーマーク(JISQ15001:2006)取得
- 2009(平成21)年 2月 マンモグラフィ検診施設認定更新
- 2009(平成21)年 12月 ISO9001:2008(QMS)認証更新(健康診断・作業環境測定・保健指導)
- 2010(平成22)年 12月 個人情報保護を含む情報セキュリティマネジメントシステムとして ISO/IEC27001:2005(ISMS)を認証取得(健康診断・作業環境測定・保健指導)
- 2012(平成24)年 7月 創立40周年を迎え「40周年記念式典」を開催
- 2012(平成24)年 12月 ISO9001:2008(QMS)認証更新(健康診断・作業環境測定・保健指導)
- 2013(平成25)年 11月 ISO/IEC27001:2005(ISMS)認証更新(健康診断・作業環境測定・保健指導)
- 2014(平成26)年 1月 内閣総理大臣の認可を得て「一般財団法人労働衛生協会」へ移行
- 2014(平成26)年 10月 情報セキュリティマネジメントシステムとして ISO/IEC 27001:2013 (健康診断・作業環境測定・保健指導)へ移行にて認証継続
- 2016(平成28)年 3月 長野県支部社屋を長野県上伊那郡辰野町辰野1477-6へ移転
- 2016(平成28)年 4月 長野県支部「ほたるの里健診センター」オープン
- 2017(平成29)年 9月 ISO9001:2015認証取得 更新(健康診断・作業環境測定・保健指導)

7. 役員・評議員名簿

(2018年7月現在)

役員名簿

役 職	常勤/非常勤	氏 名
理事	常勤	小川 純一
理事	常勤	市毛 敬子
理事	常勤	濱野 研司
理事	常勤	虎岩 治
理事	常勤	佐野 厚司
理事	常勤	阿部 和夫
理事	非常勤	天城 敦史
理事	非常勤	岩瀬 宏樹
理事	非常勤	岡部 好伸
理事	非常勤	三枝 昭裕
理事	非常勤	滝澤 亮
理事	非常勤	武山 治善
理事	非常勤	土田 幸裕
理事	非常勤	中山 伸二
理事	非常勤	南出 行生
監事	倉賀野 實	
監事	清水 一夫	

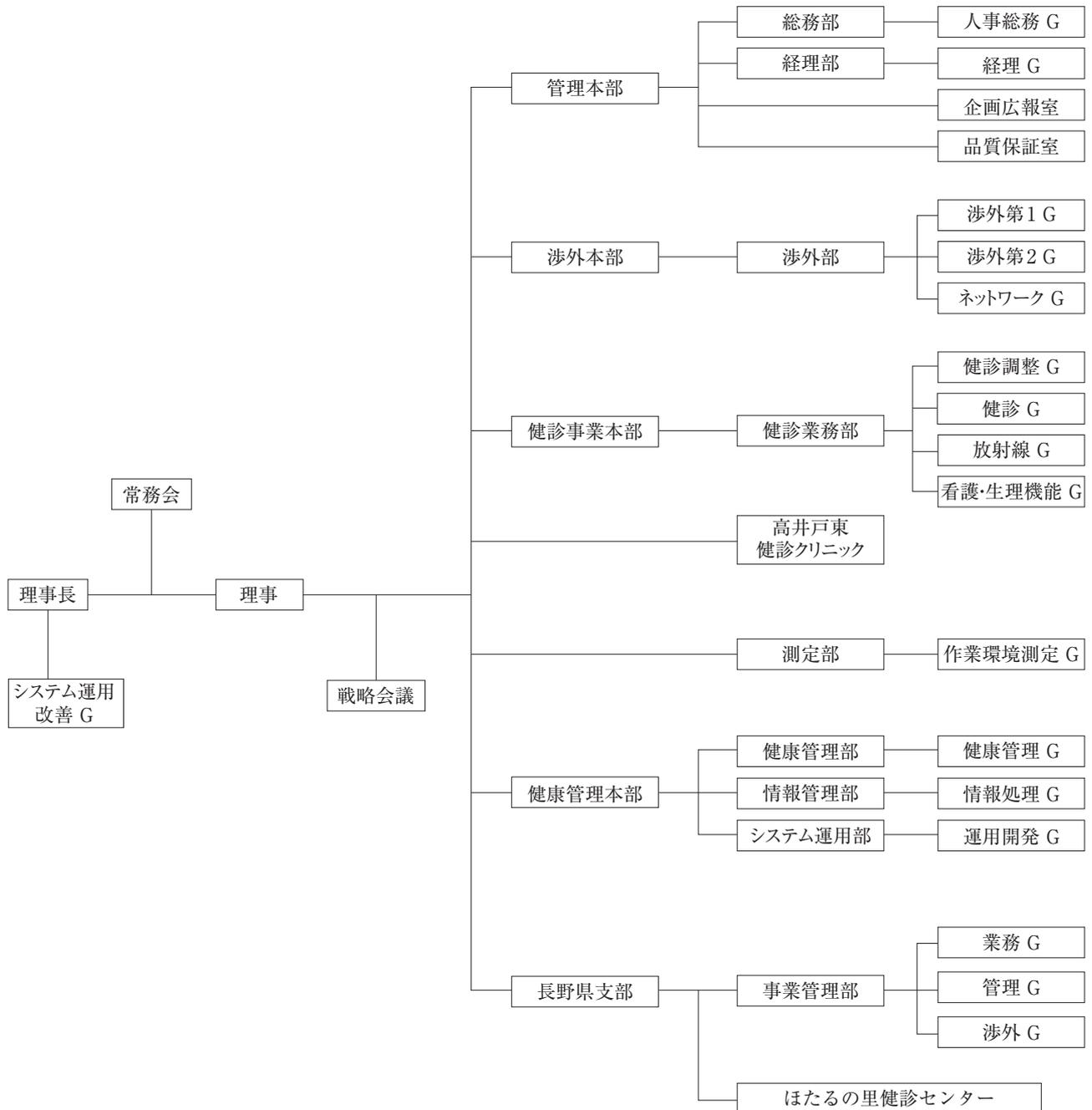
評議員名簿

氏 名
大塚 幸太郎
大山 淳
小杉 哲晴
角田 透
野村 和隆
林 潤一
前村 安文
柳 優樹
横尾 英俊
横田 榮人

I

8. 組織

(2018年7月現在)



注：Gはグループ

9. 職員数(本部・長野県支部)

(2018年7月現在)

常勤(職員・嘱託)数		有資格者数(本部・長野県支部)			
	123名	職種	常勤(職員・嘱託)	臨時職員数	合計人数
臨時職員数	108名	医師	6	3	9
		看護師	36	10	46
		保健師	4	1	5
合計	231名	管理栄養士	4	0	4
		臨床検査技師	36	7	43
		診療放射線技師	20	11	31
		作業環境測定士	3	0	3
		労働衛生コンサルタント	0	0	0
		衛生管理者(一種)	16	0	16
		合計人数	125	32	157

10. 各種研修会等の参加一覧

研修会名	主催	人数
資金調達マニュアル(融資編)	杉並法人会	1
2017年世界禁煙デー記念イベント	健康日本21推進全国連絡協議会、日本医師会、タバコと健康問題NGO協議会、日本対がん協会他	1
ガスクロマトグラフィーと固相抽出基礎セミナー	ジーエルサイエンス株式会社	1
液体クロマトグラフィーと固相抽出基礎セミナー	ジーエルサイエンス株式会社	1
IPAサイバーセキュリティしいポジジウム2017	独立行政法人情報処理推進機構	1
スマートジェイワン現場見学会	イノベーションゲートウェイ	1
健診機関職員研修会基礎コース	(公社)全国労働衛生団体連合会	1
ISO27000セミナー ISO27017クラウドセキュリティ企画解釈コース	日本規格協会	1
ISO9001:2015要求事項解釈コース	日本規格協会	1
採血業務(VVR予防、神経損傷予防)のポイント・対処法	株式会社ビー・エム・エル	2
第42回腹部超音波検査学術集会	(公社)全国労働衛生団体連合会	1
摂食障害 -職場での理解と支援-	(公財)東京都予防医学協会	1
リワークプログラムの実際 -再休職を防ぐために-	(公財)東京都予防医学協会	1
第2回乳がん検診従事者講習会 マンモグラフィと超音波の総合判定	(公財)東京都保健医療公社 東京都がん検診センター	1

11. 保有検診車等

(2018年7月現在)

胸部・胃部デジタルX線検診車	6台	(本部4台・長野県支部2台)
胸部デジタルX線検診車	7台	(本部5台・長野県支部2台)
循環器検診車	2台	(長野県支部2台)
作業環境測定車	1台	(本部1台)

撮影区分(方式)	号車	X線装置名	配置	補助金(※)
胸部(デジタル)	2	東芝SRX-A32B	本部	(J)平26
胸部(デジタル)	9	日立DHM-152TH	本部	(H)平11
胸部・胃部(デジタル)	16	東芝SRX-D32C	本部	(宝)平28
胸部・胃部(デジタル)	17	東芝SRX-A32B・D32C	本部	(宝)平23
胸部(デジタル)	21	東芝MXO-32 B	本部	(J)平21
胸部(デジタル)	25	日立DHM-1530 SX	本部	(郵)平16
胸部(デジタル)	26	東芝MXO-15 B	本部	
胸部・胃部(デジタル)	31	日立DHM-153 SX	本部	(H)平15
胸部・胃部(デジタル)	32	日立DHF-153 VMS	本部	(宝)平21
胸部(デジタル)	3	日立DHF-153 H4	支部	(郵)平5
胸部・胃部(デジタル)	15	日立DHM-153 SX	支部	
胸部(デジタル)	28	日立DHF-153 HMS	支部	(J)平22
胸部・胃部(デジタル)	34	東芝MXO-32 C	支部	(宝)平26

(※) 補助金欄について

- (郵)：日本郵便株式会社(旧日本郵政公社)の年賀寄付金を受け整備
- (H)：旧日本自転車振興会の補助金を受け整備
- (J)：JKA補助金を受け整備
- (宝)：日本宝くじ協会の助成金を受け整備

12. 保有医療機器関連

(2018年7月現在)

	機器名	メーカー等	機種名	所有台数			
				本部		支部	
				巡回	施設	巡回	施設
健診 関連 機器	身長計付体脂肪計	タニタ	TBF215,DC-250他	3	1	-	1
	手動身長計付体組成計	タニタ	DC-217A	1	-	-	-
	体脂肪計	タニタ	TBF310他	2	-	-	-
	体重計	タニタ	WB-150,WB-110他	16	-	6	-
	身長計	ヤガミ	YG200	15	-	6	-
	デジタル身長計	エーアンドデイ	AD-6400	1	-	-	-
	デジタルメタボメジャー	YAMAYO	DTM-15	-	1	-	-
	選別聴力計	リオン	AA-58,AA-55他	15	-	7	-
	全周波数聴力計	リオン	オージオメータ A73B,AA-56他	3	1	2	1
	多機能心電計	フクダ電子	FCP7541他	16	1	5	1
	無散瞳眼底カメラ	Canon	CRIMarkII他	3	1	3	1
	スパイロメーター	フクダ電子	SP350	2	1	-	-
		チェスト	H1201	-	-	-	1
	超音波診断装置	キヤノンメディカルシステムズ	Viamo(SSA640)	1式	-	-	-
			Xario(SSA680A)	-	1式	-	1式
		アロカ	SSD900	1式	-	-	-
	骨密度測定装置	日立アロカメディカル	AOS-100 SA	-	-	-	1
		GEヘルスケアジャパン	アキレスA1000	-	2	-	-
	尿自動分析装置	栄研化学	US1000	14	1	4	-
			US1200	-	-	-	1
	血圧計	テルモ	エレマーノ血圧計	14	5	5	-
		オムロン	デジタル自動血圧計 HEM907,HBP-T105S-N	30	1	5	1
		エーアンドデイ	TM2657	1	-	-	-
	眼圧計	トプコン	CT80	-	1	-	-
		キヤノン	TX-20	1	-	-	1
	スクリーンoscope ※VDT用含む	トプコン	SS 3	16	-	-	-
		トーマー	NS050,CA1000他	5	1	4	-
		エイテック	NS1000	-	-	2	-
	自動視力計	ニデック	NV-350	4	1	-	1
	近点計	トーマー	NP200他	1	-	1	-
オートレフラクトメーター	キヤノン	FULL AUTO REF R-F10	1	-	-	-	
	トーマー	TR4000	-	-	1	-	
胸部X線撮影装置	キヤノンメディカルシステムズ	KXO-32SS	-	1式	-	1式	
胃部X線撮影装置	キヤノンメディカルシステムズ	Raffine DREX-RF50	-	2式	-	1式	
X線画像診断装置	富士フイルムメディカル	CARNEO C	-	1式	-	1式	
	日立メディコ	NV Lite	-	-	-	1式	
コンピュータ断層撮影装置	キヤノンメディカルシステムズ	TSX-021B/4B	-	-	-	1式	
診療 部門	内視鏡	オリンパス	EVIS LUCERA ELITE 高輝度光源超 CLV-290	1式		1式	
	内視鏡洗浄・消毒装置	オリンパス	OER-4	1式		-	
		株式会社IHIシバウラ	OED-1000S	-		1式	
	乳房X線撮影装置	GEヘルスケアジャパン	Senographe DS他	1式		-	
		キヤノンメディカルシステムズ	MGU-1000	-		1式	
	乳房X線読影システム	東陽テクニカ	Mammo Read	1式		-	
		PSP	EV Insite	1式		-	
	超音波診断装置(乳房)	GEヘルスケアジャパン	LOGIQ S8	1式		-	
	超音波診断装置(婦人科)	日立アロカメディカル	F37	1式		-	
	高周波ラジオ波メス	エルマンジャパン	サージトロンEMC	1		-	
	光学顕微鏡	MEIJI	MIL 2700	1		-	
	汎用電気手術ユニット	アトムメディカル	リープシステム1000	1式		-	
	コルポスコープ	オリンパスメディカルシステム	OCS500	1式		-	
		カールツァイス	ZEISS	1		-	
AED	フクダ電子	HS1	1		-		

13. 保有作業環境測定機器関連

(2018年7月現在)

機器名	メーカー等	機種名	所有台数
ガスクロマトグラフ (FID)	GLサイエンス	GC390B	2式
ガスクロマトグラフ (ECD)	島津	GC-8A	1式
エックス線解析装置	島津	XRD6100	1式
分散染色位相差顕微鏡	ニコン	80TP-DPH	1

14. 施設概要

(2018年7月現在)

(1) 本 部

名 称 一般財団法人 労働衛生協会（高井戸東健診クリニック）

理 事 長 小川 純一

所 在 地 〒168-0072 東京都杉並区高井戸東 2-3-14

TEL 03-3331-2251（代）FAX 03-3331-0027

敷地面積 931.40m²

延床面積 1830.44m²



(2) 長野県支部

名 称 一般財団法人 労働衛生協会 長野県支部（ほたるの里健診センター）

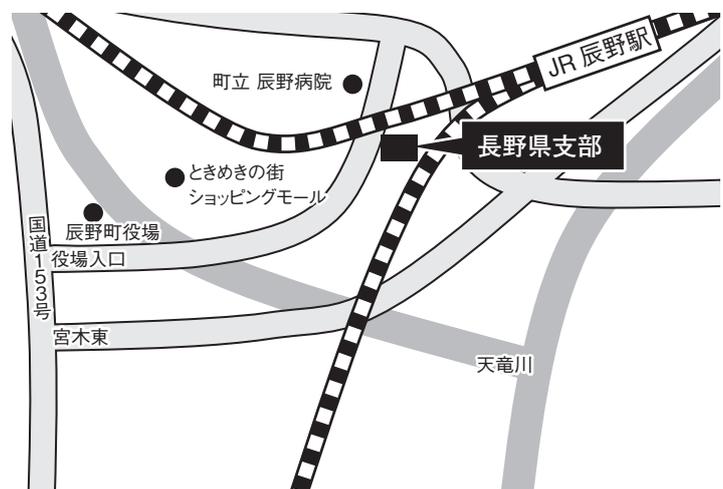
支 部 長 佐野 厚司

所 在 地 〒399-0421 長野県上伊那郡辰野町辰野 1477-6

TEL 0266-41-0101（代）FAX 0266-41-4921

敷地面積 2753.97m²

延床面積 784.69m²



■JR 辰野駅より徒歩 10 分
 ■中央自動車道・伊北 IC より車で 10 分

事業年報 2017年度（平成29年度活動報告）

2018年12月発行

編集人 駒澤幸恵 青柳忍

発行人 小川純一

発行所 一般財団法人 労働衛生協会

〒168-0072 東京都杉並区高井戸東2-3-14

TEL 03-3331-2251（代）

印刷所 株式会社 アイワエンタープライズ

〒108-0074 東京都港区高輪3-22-4

TEL 03-3447-6511